

## 連載「道産木材データベース」

### ミズキ

- 名称 和名：ミズキ  
別名（地方名）：ミズクサ，ミズノキ，クルマミズキ等  
アイヌ語名：イナウニニ i-naw-ni-ni（神事用の木幣の材をとる木）等  
漢字表記：水木  
英名：Table dogwood
- 学名 *Cornus controversa* Hemsley
- 分類 ミズキ科ミズキ属
- 分布 日本，朝鮮半島，中国，インドシナ，ヒマラヤ



生態・形態 低山，原野で普通に見られる落葉樹。陽樹。湿潤で肥沃な土壌を好む。

大きなもので高さ10～15m，太さ30～50cm。樹皮は灰褐色で浅く縦裂が入る。枝は扇状に四方へ広がり階段状になる。小枝は紫紅色で光沢があり，枝先が上向きにわん曲する。葉は互生し，先端部に集まる傾向がある。葉身は広卵形～楕円形，長さ5～14cm，幅3～9cm，先がとがる。葉縁に鋸歯は無く，少々波状となる。葉の側脈は明瞭で弓形に5～8対。葉柄は赤褐色。花は白色で，枝先の散房花序に多数着く。果実（石果）は球形で径6～7mm，秋に黒熟する。

春先に枝を切ると水が滴り落ちることが「水木」の名の由来。



階段状の枝ぶり



上向きにわん曲する枝先



樹皮



葉



花

木材の性質 散孔材。白色～淡黄白色～灰褐色で辺材・心材の区別は不明瞭。早材から晩材への移行が緩やかで年輪ははっきりしない。緻密で肌目は精。気乾比重が 0.67 程度でやや硬い部類に入るが、一般に加工は容易であり塗装仕上がりもよい。耐朽性は低い。

主な用途 建築材, ろくろ・寄木細工, 漆器木地, 箸, 杓子, 玩具, 下駄, 彫刻材, 印材, 薪炭など用途は広い。「鳴子のこけし」など東北地方のこけしは、使う材の多くがミズキ。冬期に赤みを強める若枝は正月の繭玉飾りに用いられる。アイヌ民族はミズキ材で神事に用いるイナウ（木幣）を作った。街路・公園樹に使われる。

物理的性質※

気乾比重	0.67
平均収縮率（接線方向）	0.27 ～ 0.32 %
（放射方向）	0.18 ～ 0.21 %

機械的性質※

曲げヤング係数	106 ～ 135 tf/cm <sup>2</sup>
曲げ強さ	841 ～ 1,090 kgf/cm <sup>2</sup>
圧縮強さ	441 ～ 570 kgf/cm <sup>2</sup>
せん断強さ	96 ～ 120 kgf/cm <sup>2</sup>

加工の性質※

人工乾燥の難易	—
割裂性	—
切削その他の加工性（塗装性）	良い
表面仕上	—
保存性（耐朽性（心材））	極小



木口面



板目面



柁目面

※上記の木材の性質に関する数値等は、（社）日本木材加工技術協会発行の「世界の有用木材 300 種（農林省林業試験場木材部編 1975）」から引用しました。

木材の性質それぞれの意味については、連載 1 回目の 2007 年 12 月号で説明しています。

参考

- ・原色日本植物図鑑 木本編【I】：北村四郎・村田源 保育社 1971
- ・落葉広葉樹図譜 冬の樹木学：四手井綱英・斎藤新一郎 共立出版（株） 1978
- ・知里真志保著作集 別巻 I 分類アイヌ語辞典 植物編・動物編：知里真志保 平凡社 1976
- ・樹の事典 美しい森と自然の素材：朝日新聞社 1984
- ・（財）日本木材総合情報センター：http://www.jawic.or.jp

（文責：石倉）